



出雲崎町地域おこし協力隊

石坂 優

書店員・ブックディレクターをしながら、大阪・名古屋・東京の大都市を経て、現職。この場所で、町の人・町を訪れる人が「もっと町を好きになる」ような、本と出会う場所を、未踏の地・新潟で奮闘しながら創っている。



柏崎ポーターズ

小池 勝己

1979年消防署へ就職、消防士となる。平成11年に「救急救命士」国家資格を取得し、18年間救急活動に従事したほか、柏崎管内にて、火災、救急救助、予防業務と消防職務を全うし、55歳で早期退職。2021年より柏崎ポーターズとして福祉タクシー事業と御用聞きを開始。9月からは新潟医療福祉大学救急救命学科非常勤講師、一般社団法人「水難学会」指導員、フードバンク柏崎代表



高柳町 市民活動団体

ふきのとう

高柳で子育て中のママ達が、子供の減少で保育園、小学校の存続が難しいという現実と直面し、立ち上がる。「高柳で働きながら子育てしやすい環境をつくる」をテーマに「ママたちの仕事をつくる」「高柳の魅力を伝える体験活動を行う」「移住希望者に向けた情報発信」の3つの柱で活動を行っている。

アイデア交換会とは

柏崎市内外で活躍するプレイヤーが事業やまちへの計画を発表し、広い知見を持ったメンターが現実性や継続性を持ってメンタリングする場です。一般の方も話を聞いて問いや学びを共有し、一緒に考え、応援やつながりを生むイベントです。

Boiled Egg

まちからアイデア交換会 2021

事業やまちへのアイデアを、湧かして茹でてカラを割る1日

2021/8/22(日)
13:00~16:00
受付開始 12:30

参加費：1,000円
要申込 / 定員30名
ZOOM視聴のみ参加：500円
※全国体とメンター3名のセッションが視聴できます



メンター 高木 千歩

2011年に地域おこし協力隊として両親の出身地である十日町市に東京から移住。任期終了後、4名で地産地消をテーマにしたクラフトビールレストラン立ち上げ、店長として働く中、お客様の声からビール醸造を目指す。2017年1月妻有ビール株式会社設立、2018年1月より醸造開始。



メンター 大石 友子

新潟産業大学経済学部教授。経営学を専門とし、事業構想、アントレプレナー論、ベンチャー企業の新規事業動向、商品開発などを扱う。女性の労働環境にも造詣が深く、自治体、大学、企業で活動を行う。経済産業省男女共同参画研究会委員、経済産業省近畿経済産業局起業支援員委員長、京都市企業立地促進委員会委員、京都市ベンチャー企業目利き委員会委員、(株)帝人女性活躍推進室コーディネーター、京都学園大学(現 京都先端科学大学)名誉教授



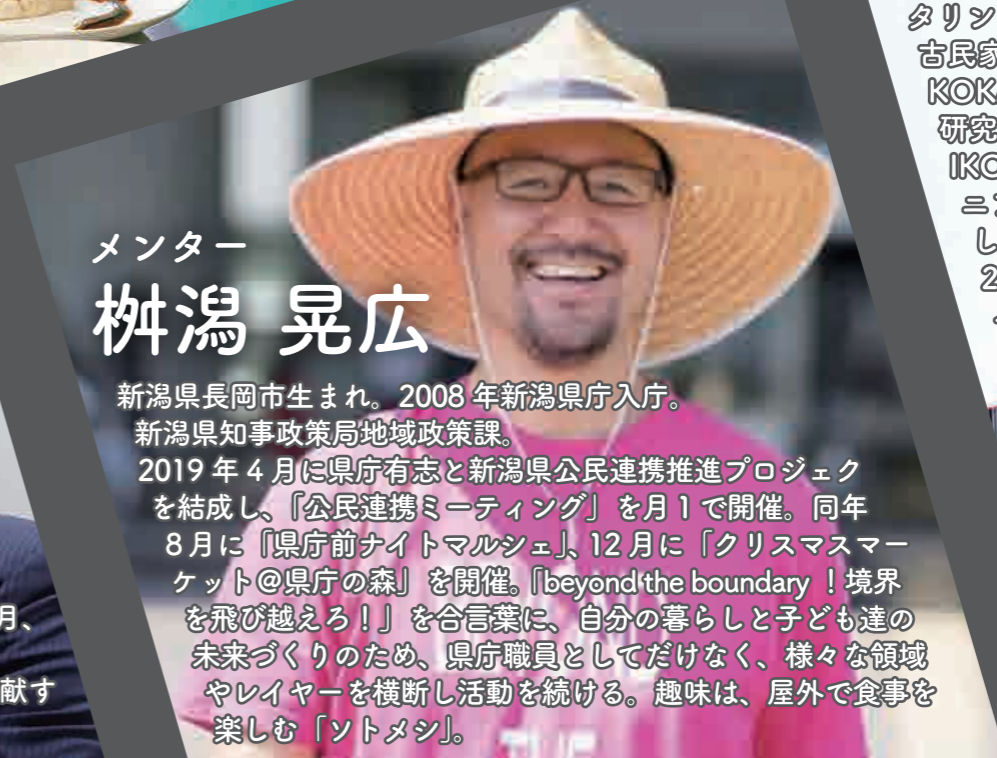
メンター 赤堀 博一

柏崎市出身。2002年柏崎信用金庫入庫。2018年9月、東支店に支店長として配属。2020年3月、本店に副本店長として配属。柏崎信用金庫の基本方針である「お取引先の元気に貢献する」、「地域の活かに貢献する」に向けて邁進中。



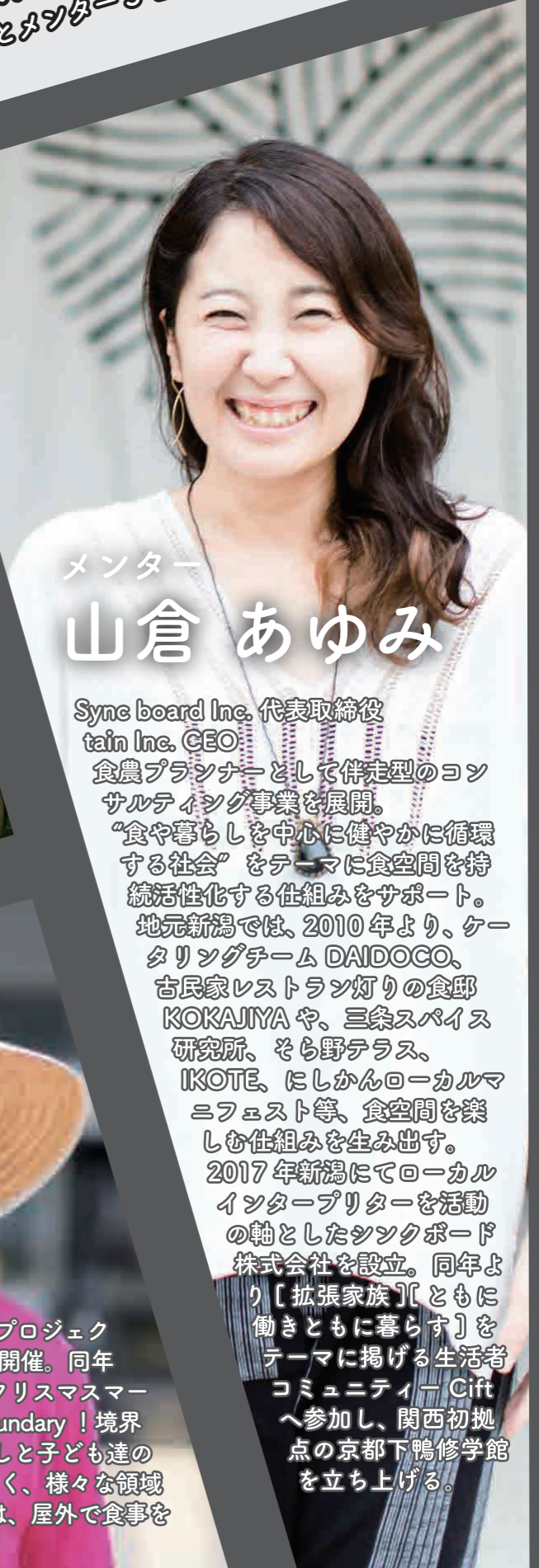
メンター 西村 遼平

柏崎市出身。柏崎の商店街で飲食店を営む両親のもとに生まれ、年々寂しくなっていく人通りや閉まっていくお店を見て育つ。まちに貢献したいと事業を始める。2018年 有限会社 la Luce e L'ombra 設立、里山 cafe l'm Home オープン、観光ビジョン策定委員会、日本初教育委員会公認 SDGs メンター、2019年 デスティネーション キャンペーン、2020年 焙煎スタンド nibbles オープン、2021年 kitchen 105 オープン



メンター 柘湯 晃広

新潟県長岡市生まれ。2008年新潟県庁入庁。新潟県知事政策局地域政策課。2019年4月に(県庁有志と新潟県公民連携推進プロジェクト)を結成し、「公民連携ミーティング」を月1で開催。同年8月に「県庁前ナイトマルシェ」、12月に「クリスマスマーケット@県庁の森」を開催。「beyond the boundary! 境界を飛び越える!」を合言葉に、自分の暮らしと子ども達の未来づくりのため、県庁職員としてだけでなく、様々な領域やレイヤーを横断し活動を続ける。趣味は、屋外で食事を楽しむ「ソトメン」。



メンター 山倉 あゆみ

Synce board Inc. 代表取締役
tain Inc. CEO
食農プランナーとして伴走型のコンサルティング事業を展開。
“食や暮らしを中心に健やかに循環する社会”をテーマに食空間を持続活性化する仕組みをサポート。地元新潟では、2010年より、ケータリングチーム DAIDOCO、古民家レストラン灯りの食邸 KOKAJIYA や、三条スパイス研究所、そら野テラス、IKOTE、にしかんローカルメニュー等、食空間を楽しむ仕組みを生み出す。2017年新潟にてローカルイータープリターを活動の軸としたシンクボード株式会社を設立。同年より「拡張家族」[ともに働きともに暮らす]をテーマに掲げる生活者コミュニティ「Gift」へ参加し、関西初拠点の京都下鴨修学館を立ち上げる。

Social Business / Sustainability / Vision & Mission / with your Idea

会場

かしわざき市民活動センターまちから
(新潟県柏崎市西本町3丁目2-8)

主催・お問い合わせ

かしわざき市民活動センターまちから
(指定管理者：NPO 法人 aisa)
TEL: 0257-22-2003
MAIL: machikara@npo-aisa.com

申込方法

右の QR コードからもしくは、問い合わせ先にご連絡ください。

申込締切：8月18日(水)

かしわざき市民活動センター
中越沖地震メモリアル

まちから

